



# すくすく 海陽っ子 応援BOOK

— 令和7年度改訂版 —



海陽町公式キャラクター  
ふるるん

 子育て  
カレンダー

 妊娠が  
わかったら

 赤ちゃんが  
生まれたら

 こどもの  
発達や障がい  
への支援

 ひとり親家庭  
への支援

 認定こども園・  
保育所(園)

 子育て  
交流の場

 小学校・  
中学校・  
高等学校

 相談窓口一覧

# はじめに

「すくすく海陽っ子応援 BOOK」は、これから出産される方や現在子育てをされている方へ、子育てに役立つ情報や行政サービス、相談窓口などを紹介しています。

身近な場所に置いていただき、子育てについて心配ごとや困ったことがあれば、ぜひこの応援 BOOK を開いてみてください。

子どもたちがすくすく元気に成長し、子育て中のみなさま、子どもたちみんなが笑顔で過ごせるよう、子育ての応援をする。そんな一冊になることを願っています。

## - ご利用にあたって -

この応援 BOOK の内容は、作成時点（令和7年4月）のものとなっています。発行後は、制度等の変更により、内容が実際と異なる場合がありますので、実際に手続きを行う際は、各担当までお問い合わせのうえご確認ください。



# もくじ

●はじめに	1
●もくじ	2
●子育てカレンダー	3
●かいようこども家庭センター「あすも」	5

## 妊娠がわかったら

●母子健康手帳の交付	6
●妊婦のための支援給付	6
●妊婦一般健康診査	6
●産前ケア事業	6
●妊婦歯科検診	7
●パパママ教室	7
●ベビー用品購入費助成	7

## 赤ちゃんが生まれたら

### 各種届出・手当・助成

●出生届	8
●妊婦健診・出産時交通費・宿泊費助成	8
●子どもあゆみ医療費助成	8
●未熟児養育医療の給付	8
●児童手当	9
●子どもあゆみ応援交付金	9
●ファミリー・サポート・センター利用助成	9

### 健診・保健事業

●産後ケア事業（訪問型）	9
●産後簡易検査	9
●新生児聴覚検査事業	10
●乳児一般健康診査・産婦健康診査	10
●赤ちゃん訪問事業	10
●乳幼児健診	10
●げんきひろば（乳幼児相談）	10
●予防接種	11
●インフルエンザ予防接種助成	12

### 子育て支援事業

●海陽町地域子育て支援センター「あのね」	12
●かいようファミリー・サポート・センター	12
●リユースひろば「おむすび」	13
●かいようファミリー・サポート・センター 「病児・病後児預かり事業」	13

●ブックスタート事業	14
●就学前児童預かり事業	14
●子育て短期支援事業	14

## こどもの発達や障がいへの支援

●相談窓口	15
●のびのび教室	15
●手帳の交付	16
●主な支援・助成等	16

## ひとり親家庭への支援

●児童扶養手当	17
●ひとり親家庭等医療費助成	17
●その他のサービス・貸付金等	18

## 認定こども園・保育所（園）

●保育施設	19
●給食副食費補助	20
●園児服等購入クーポン券交付事業	20
●一時預かり保育	21
●英語教室	21
●食育活動	21

## 子育て交流の場

●子育てひろば「おひさま」	22
●子育てサークル「ひよこクラブ」	22

## 小学校・中学校・高等学校

●小学校・中学校・高等学校	23
●放課後子ども教室	23
●学童保育かいよう	23
●就学援助制度	24
●学校給食費補助	24
●学校給食費補助（地産地消食材費）	24
●体操服購入助成	25
●第3子以降中学校卒業祝金	25
●海陽町奨学金貸与制度	25
●おかえ Re ターン海陽・奨学金支援事業	25

相談窓口一覧	26
--------	----

# 子育てカレンダー



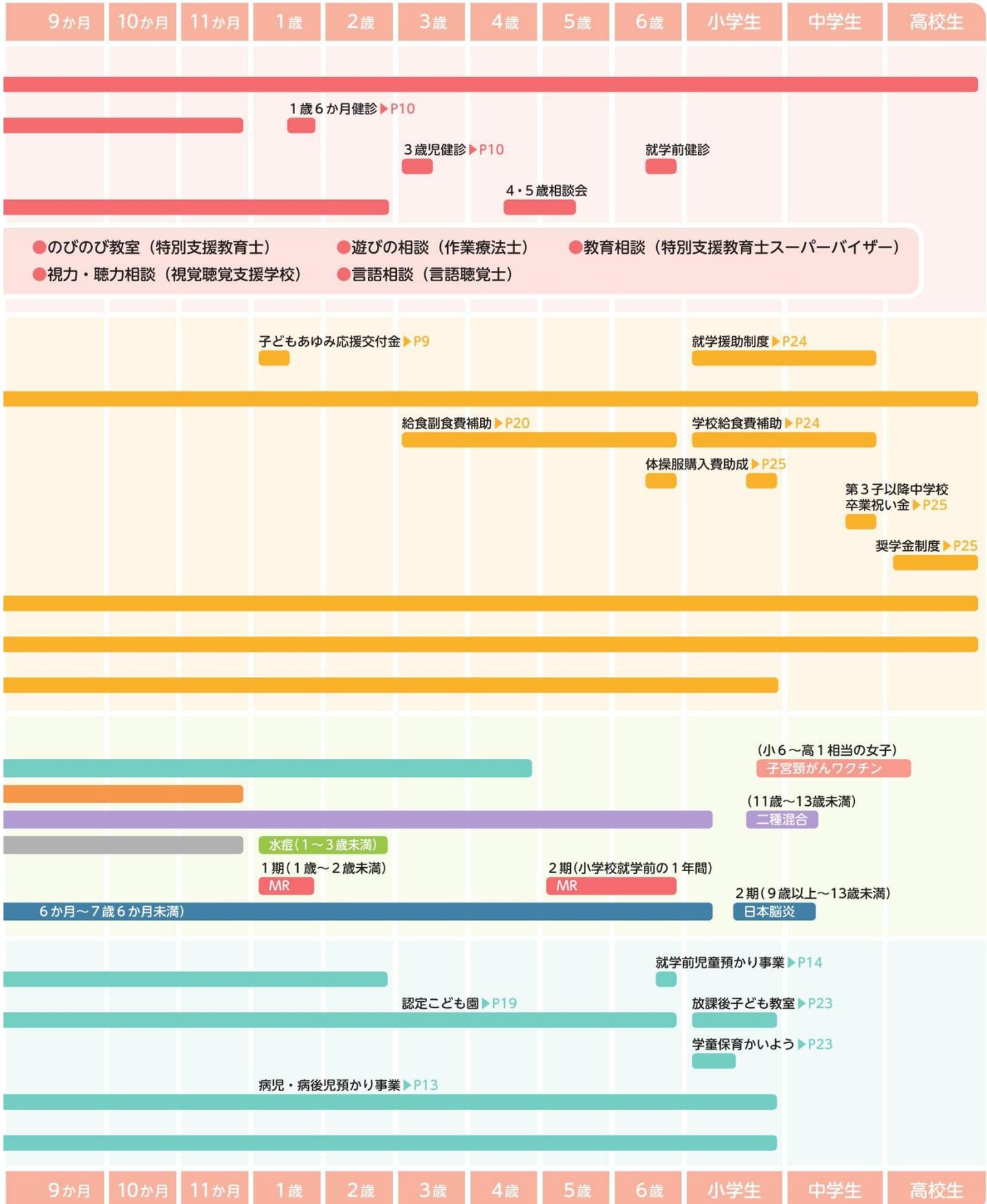
子育てカレンダー

	妊娠中	誕生～0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	
健診・相談	かいようこども家庭センターあすも ▶P5										
	妊婦一般健康診査 ▶P6		乳児一般健康診査 ▶P10								
	産前ケア事業 ▶P6		産婦健康診査 ▶P10								
	妊婦歯科健診 ▶P7		げんきひろば（乳幼児相談） ▶P10								
届出・手当・助成等	母子健康手帳交付 ▶P6										
	妊婦のための支援給付 ▶P6										
	妊婦健診・出産時交通費・宿泊費助成 ▶P8										
	ベビー用品購入費助成 ▶P7										
予防接種	出生届 ▶P8										
	未熟児養育医療の給付 ▶P8										
	子どもあゆみ医療費助成 ▶P8										
	児童手当 ▶P9										
子育てサポート	ファミリー・サポート・センター利用助成 ▶P9										
	ロタ（出生6週0日後～出生24週0日後または32週0日後まで）										
	小児用肺炎球菌（生後2か月～5歳未満）										
	B型肝炎（生後1歳未満）										
五種混合（生後2か月～7歳6か月未満）											
BCG（生後1歳未満）											
日本脳炎 第1期初回・追加（生後											
海陽町地域子育て支援センター「あのね」 ▶P12											
認可保育所（園） ▶P19											
かいようファミリー・サポート・センター ▶P12 / リユースひろば「おむすび」 ▶P13											
子育て短期支援事業 ▶P14											

- 育児相談・講演会（小児科医）
- 発達相談・発達検査（心理士）



インフルエンザ  
予防接種助成 ▶P12



# かいようこども家庭センター あすも

かいようこども家庭センター「あすも」は、妊娠期からすべての妊産婦さんと子ども、保護者の様々な相談に対応し、関係機関と連携を図りながら妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

## どんな相談ができるの？

### 子育てのこと

- 子どもの成長発達に心配
- 離乳食、トイレトレーニングがうまく進まない
- 困っているがどこに聞いたらよいかわからない など



### 家庭のこと

- 育児を手伝ってくれる人がいない
- 妊娠中や出産後の生活が不安
- サービスについて知りたい など

### こどものそうだん

- 学校で嫌なことをされる
- 家に帰りたくない、学校に行きたくない
- 家族の世話や家のことをして、自分の時間がない など

### 地域からのそうだん

- 子どもが泣き叫んでいる
- 子どもに傷やあざがある
- 子どもが戸外に締め出されている など



### 保護者のそうだん

- 体調がすぐれず、子育てがづらい
- 転居したばかりで周囲に知り合いがいない
- 子どもにイライラする など



妊娠、出産、子育ての悩みや家庭の心配事など、どんなことでもお気軽にご相談ください。お子さんと一緒に安心して相談に来ていただける相談室があります。

**【利用時間】** 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）  
午前8時30分～午後5時15分

**【場 所】** 海陽町役場 海部庁舎 1階 相談室

**【連絡先】** 0884-73-4311（時間外の希望は事前にご連絡ください）



### 相談室



# ニ 妊娠がわかったらニ

## 母子健康手帳の交付

**問** **こども家庭センター「あすも」**  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

妊娠がわかったら、こども家庭センター「あすも」におこしください。妊娠届出を記入後、母子健康手帳と健康診査受診票を交付し、マタニティ用品や妊婦用品等をお渡しします。



届出時には保健師より、母子保健サービスの内容や妊娠中のお体のこと等についてお話させていただき、出産にむけての気になることなどをご相談いただける機会となります。時間に余裕をもっておこしください。事前連絡をいただくとスムーズです。個室での個別対応をおこなっていますので、妊娠初期で不安な場合も、秘密は守られます。電話での相談もできますので、お気軽にお問合せください。

### 持ちもの

#### 本人確認できるもの

(病院で受け取っている場合は、妊娠初期アンケート)

## 妊婦のための支援給付

**問** **こども家庭センター「あすも」**  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

妊婦への経済的な支援として、妊娠された方(医師による胎児の心音確認を受けた方)に1回目、出産予定日の8週間前の日以降～産後に2回目の給付金があります。(旧出産・子育て応援交付金)



1回目は妊娠届出と合わせて申請できます。

### 給付額

【1回目】 50,000円  
【2回目】 お子さん1人につき50,000円  
(双子の場合は、2人分の100,000円)

※流産・死産の場合も給付金を受け取ることができますので、ご相談ください。

## 妊婦一般健康診査

**問** **こども家庭センター「あすも」**  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

妊婦健康診査費用の一部を助成します。妊娠届、転入手続きをされた妊婦さんに、妊婦一般健康診査の受診券をお渡しします。

里帰り出産等で徳島県外の医療機関で妊婦健診を受診する場合、受診票が直接使用できません。一旦お支払いいただき、帰宅後に申請することで上限額まで費用を返還いたします。領収書を保管しておいてください。

(乳児一般健診、産婦健診、新生児聴覚検査も同様です)



## 産前ケア事業

**問** **こども家庭センター「あすも」**  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

開業助産師による骨盤ケアや相談など個別ケアの初回1回分の費用を補助します。土曜日や妊婦健診受診日など都合がよい日時に予約して利用できます。訪問での対応も可能です。(母子保健事業日以外の場合は、別途交通費が発生する場合があります)





## 妊婦歯科検診

**問** **こども家庭センター「あすも」**  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

妊娠中に歯科検診1回を無料で受けることができます。妊娠中は歯周病菌が増えやすい時期ですので、妊娠5ヶ月(16週)以降に歯科検診をおすすめしています。

下記医療機関に電話予約後、母子手帳と受診票をご持参ください。

※検診後、治療が必要な場合は、医療保険での治療になります。



医療機関	電話番号	住所
シシクイデンタルクリニック	76-1110	久保字板取62-14
ヒロタ歯科医院	73-3681	四方原字町西48-1
前川歯科医院	76-3858	久保字松本119-4
やまいし歯科医院	73-1576	奥浦字一宇谷1-15

## パパママ教室

**問** **こども家庭センター「あすも」**  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

妊娠中や産後の骨盤ケアの方法を学べる「骨盤ケア教室」、赤ちゃんの抱っこや環境の整え方など育児について学ぶ「まるまる体験会」を助産師と保健師が行います。対象者には個別に案内します。小集団でゆったりとご参加いただけます。

ご家族やお子様連れでもご参加いただけますので、妊娠中や産後にもご利用ください。



## ベビー用品購入費助成

**問** **子どもあゆみ保健課(海部庁舎)**  
☎ 0884-73-4313

海陽町で生まれた赤ちゃんの成長を応援するため、ベビー用品購入費を助成します。

**対象者** 次の要件のすべてに該当する方

- ①購入日及び申請日に保護者・お子さんが町内に住所を有する方
- ②保護者が町税及び保育料を滞納していないこと

**助成対象品**

ベビーベッド・チャイルドシート・ベビーカー

**助成額**

お子さん1人につき、各品目1台ずつ購入金額の2分の1(百円未満切り捨て)

※各品目上限額2万円(ベビーベッドは1万円)

**申請期間**

誕生日から満1歳に達する日まで

## 【ベビー用品レンタル事業】

レンタル事業は、貸出可能なベビー用品の在庫がなくなり次第終了となります。

※購入費助成かレンタル事業のどちらか一方の選択となります。

**対象者**

海陽町に住所を有する赤ちゃんの保護者

**貸出用品**

ベビーベッド・チャイルドシート・ベビーカー

**貸出期間**

- ・ベビーベッド(満1歳の誕生日まで)
- ・チャイルドシート・ベビーカー(満2歳の誕生日まで)

**申請時期**

出産予定日の3ヶ月前から



# 赤ちゃんが生まれたら

## 各種届出・手当・助成

### 出生届

**問** 住民環境課（海南庁舎）  
☎ 0884-73-4152

赤ちゃんが生まれて、医師に出生証明書を書いてもらったら「出生届」に記入し、生まれた日を含めて14日以内に届出をしましょう。

### 届出窓口

- ・住民環境課（海南庁舎）
- ・子どもあゆみ保健課（海部庁舎）
- ・観光交流課（穴喰庁舎）

### 必要なもの

出生届・印鑑・母子健康手帳



## 妊婦健診・出産時交通費・宿泊費助成

**問** こども家庭センター「あすも」  
（海部庁舎子どもあゆみ保健課内）  
☎ 0884-73-4311

海部郡外の健診にかかる交通費を1回につき、1,000円を助成します。また、出産日の前日以前7日のうち3回を限度とし、1回5,000円の宿泊料も助成します。



## 子どもあゆみ医療費助成

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

子どもが病気やケガをしたときに、保険診療の自己負担額（一部負担額）を助成します。外来・入院ともに自己負担金は必要ありません。

### 対象者

町内に住所を有する0歳～18歳  
到達後の3月31日までの子ども

### 申請時期

子どもが生まれたとき、他市町村から転入したときなどは申請が必要です。

### 必要なもの

お子様の健康保険情報が確認できるもの  
※徳島県外の医療機関等を受診された場合は、一旦窓口で一部自己負担金を支払う必要がありますが、後日役場窓口申請することにより払い戻されます。



## 未熟児養育医療の給付

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

出生時の体重が2,000g以下、または2,000gを超えていても身体の発達が未熟なまま生まれた赤ちゃんが、指定された医療機関に入院した場合、医療費の自己負担分を負担します。



赤ちゃんが生まれたら

## 児童手当

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

高校生年代（18歳到達後の最初の年度末）までの児童を養育している方に支給します。

支給額	3歳未満 (第3子以降は30,000円)	15,000円
	3歳～高校生年代の児童 (第3子以降は30,000円)	10,000円
支給月額	原則、偶数月に、それぞれの前月分までの2カ月分が支給されます。 ※公務員の方は、勤務先での手続きになります。	

※第3子以降とは、22歳に達する日以降最初の3月31日までの間で、受給者が養育している児童の3番目以降の児童を言います。

### 認定請求

子どもが生まれたとき、他市町村から転入したときなどは申請が必要です。誕生日や転出予定日などの異動日の翌日から15日以内に申請してください。



### 必要なもの

- ①請求者の健康保険情報が確認できるもの・請求者名義の通帳（キャッシュカード）
- ②本人確認書類（免許証・マイナンバーカード等）
- ③請求者および配偶者のマイナンバーが分かるもの

## 子どもあゆみ応援交付金

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

お子さんの1歳の誕生日以降に申請により支給します。



### 対象者 次の要件のいずれにも該当する方

- ①お子さんの満1歳の誕生日から交付金の申請日において、お子さんとお子さんを養育する方が継続して本町に住所を有している。
- ②お子さんのおおむね8カ月から1歳6カ月の間に乳児健診等を利用して面談等を受けている。

**給付額** お子さん1人につき50,000円

## ファミリー・サポート・センター利用助成

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

かいようファミリー・サポート・センターの利用料を時間内・時間外、依頼する子どもの人数にかかわらず、1時間500円で利用できるように補助します。ひとり親、移住3年以内の方は1時間300円で利用できるように補助します。

また、提供会員へは援助活動1時間につき200円を補助します。

詳しくは、子育て支援事業の「かいようファミリー・サポート・センター」をご覧ください。



## 健診・保健事業

### 産後ケア事業（訪問型）

**問** こども家庭センター「あすも」  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

希望者に助産師が自宅を訪問し、産後の乳房ケアや骨盤ケア、赤ちゃんケアを実施します。



### 産後簡易検査

**問** こども家庭センター「あすも」  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

希望者に、産後の母親の簡易検査をおこないます。体組成（体重・筋肉量・体脂肪率等）、尿検査、血圧、血糖検査等。産後のお体の状態を数値で確認してみることをお勧めしています。

げんきひろば（乳幼児相談）と同日時で実施しています。



## 新生児聴覚検査事業

**問** こども家庭センター「あすも」  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

新生児聴覚検査にかかる初回検査の費用を助成します。妊娠届出時に受診票をお渡ししますので、入院中の検査でご利用ください。



## 乳児一般健康診査・産婦健康診査

**問** こども家庭センター「あすも」  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

乳児健診・産婦健診費用の一部を助成します。乳児は出生届出時に2枚交付しますので、1歳までの期間で、医療機関での乳児健診にご利用ください。産婦は2週間健診と1か月健診でご利用いただく2枚を妊娠届出時に交付します。医療機関受診時にご提出ください。



## 赤ちゃん訪問事業

**問** こども家庭センター「あすも」  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

保健師が、赤ちゃんをお迎えしたご家庭を訪問し、体重測定や育児相談、母子保健事業の案内等を行います。対象の方には、保健師より事前に電話連絡いたします。

里帰り出産の方への訪問も無料でおこなっていますので、お気軽にお問合せください。



## 乳幼児健診

**問** こども家庭センター「あすも」  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

子どもの健やかな成長と健康のために各健康診査を実施しています。対象者には個別にお知らせします。お子さんの成長を確認する大切な機会ですので、ぜひ受診してください。



種類	場所	内容
乳児健診	海部庁舎3階 げんきひろば	身体計測、小児科医診察、保健・栄養・歯科相談
1歳6ヶ月健診		身体計測、小児科医・歯科医診察、保健・栄養・歯科相談、心理問診と相談、視力・聴力の確認
3歳児健診		身体計測、小児科医・歯科医診察、保健・栄養・歯科相談、心理問診と相談、尿検査、視力(屈折検査)・聴力の確認

## げんきひろば(乳幼児相談)

**問** こども家庭センター「あすも」  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

赤ちゃんと保護者の遊びと交流の場です。身体測定、保健、栄養、歯科相談を利用することができます。

また、同じ日時で助産師相談室(助産師の個別相談)と遊びの相談(作業療法士の個別相談)を実施しています。個別相談は予約制となっています。



### 対象者

乳児～幼児、  
里帰り児

### 場所

海部庁舎3階  
げんきひろば



げんきひろば

## 予防接種

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

海陽町では、赤ちゃん訪問の時に3歳頃までの定期接種について予診票をお渡しして説明をさせていただきます。その後は、接種時期に個別に案内を郵送いたします。県内の委託医療機関で無料で受けられます。詳しくはお問い合わせください。

医療機関	電話番号	住所
いしもとファミリークリニック	74-3503	大里字白水91-17
大里医院	73-3102	大里字松原34-47
穴喰診療所	76-2028	穴喰浦字松原142-1

※事前に**接種予約**が必要です。

※接種時に**予診票**と**母子手帳**を持参してください。



赤ちゃんが生まれたら

# 予防接種カレンダー

## 定期接種

※予防接種は法令等で変更になることがあります。

定期予防接種は法律で定められた予防接種のため、必ず接種してください。費用は無料です。

令和7年4月1日現在

ワクチン名		対象年齢	標準的な接種時期	接種回数 ※（ ）内は接種間隔
ロタウイルス (どちらか一方のワクチンを接種)	ロタリックス (1価)	出生6週0日後～ 出生24週0日後までの間	【1回目】 生後2か月 【2回目】 生後3か月	2回 (27日以上の間隔をおく)
	ロタテック (5価)	出生6週0日後～ 出生32週0日後までの間	【1回目】 生後2か月 【2回目】 生後3か月 【3回目】 生後4か月	3回 (27日以上の間隔をおく)
小児用肺炎球菌		生後2～60か月に 至るまでの間	生後2～7か月に至るまで (接種開始時期)	1～4回 ※接種開始時期によって、回数・間隔が異なります。
B型肝炎		1歳未満	【1回目】 生後2か月 【2回目】 生後3か月 【3回目】 生後7～8か月	3回 (2回目：1回目から27日以上の間隔をおく) (3回目：1回目から139日以上の間隔をおく)
五種混合 ・ジフテリア ・百日咳 ・破傷風 ・ポリオ ・ヒブ	1期初回	生後2～90か月に 至るまでの間	生後2～7か月に至るまで	3回 (20日以上の間隔をおく)
	1期追加		初回接種(3回)終了後 6～18か月	1回 (初回接種【3回】終了後、6か月以上の間隔をおく)
二種混合 ・ジフテリア ・破傷風		2期	11歳以上13歳未満	11歳 1回
BCG		生後1歳に至るまでの間	生後5～8か月に至るまで	1回
水痘		生後12～36か月に 至るまでの間	【1回目】 生後12～15か月 【2回目】 1回目から6～12か月後	2回 (3か月以上の間隔をおく)
MR 麻疹 風疹	1期	生後12～24か月に 至るまでの間	1歳になったらなるべく早く	1回
	2期	小学校就学前の1年間 (4月1日～3月31日)	こども園・保育所等の年長児 相当の年齢になったら、なるべく早く	1回
日本脳炎	1期初回	生後6～90か月に至る までの間	3歳	2回 (6日以上の間隔をおく)
	1期追加		4歳	1回 (初回接種【2回】終了後6か月以上の間隔をおく)
	2期	9～13歳未満	9歳	1回
子宮頸がん(HPV) ※女子のみ		12歳となる日の属する年度 の初日から16歳となる 日の属する年度の末日 までの間 (小6～高1相当の年齢)	中学1年生相当の年齢	2回または3回 ※ワクチンや接種開始時期によって接種回数と接種間隔が異なります

## インフルエンザ予防接種助成

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

下記対象者は、インフルエンザ予防接種助成を受けることができます。対象者には助成券を郵送します。助成券は町内の医療機関のみの取扱いとなります。町外で接種された場合は、全額負担後、領収書等添付して還付請求をしてください。

### 対象者

生後6ヶ月から高校3年生に相当する年齢・妊婦

### 助成金額

1回につき2,250円（13歳未満は上限2回）  
※13歳未満のインフルエンザ点鼻ワクチンは1回につき4,500円



## 子育て支援事業

### 海陽町地域子育て支援センター「あのね」

**問** 海陽町地域子育て支援センター「あのね」  
（海部庁舎3階）  
☎ 0884-74-3112

子育て支援センターは、親子が自由に遊び、交流できる場所です。海部庁舎3階にあり、妊娠中の方、0歳から3歳のお子さんと保護者の方ならどなたでも利用できます。

センター開放のほか、楽しいイベントも行っています。お気軽にご利用ください。

### 開所日

月～金曜日

※祝日、年末年始（12/29～1/3）、警報発令時は休所

**時間** 10:00～16:00



あのね  anone



公式 LINE



海陽町地域子育て支援センター「あのね」

## かいようファミリー・サポート・センター

**問** かいようファミリー・サポート・センター  
（海部庁舎3階）  
☎ 0884-74-3112

子育ての援助をしたい人（提供会員）と子育ての援助を受けたい人（依頼会員）による会員組織で、子育てに関する相互援助活動を行い、子育ての支援を行います。

### 対象者

0歳から小学6年生までのお子さんがいる町内に在住・通勤されている方

※特別な事情がある場合は中学生のお子さんも対象になります。

### 援助内容

・保育所・幼稚園等への送迎や終了後の預かり  
・保護者の臨時的な就労や求職活動時  
・保護者の病気や冠婚葬祭、買い物などリフレッシュしたいとき など

### 会員登録

利用するには会員登録をしてください。  
（登録料は無料）

**受付時間** 月～金曜日 9:00～17:00  
（祝日・年末年始を除く）

**利用料金** 1時間あたり

	通常 利用料金	補助金*	保護者 負担分
月曜日～金曜日 (7:00～21:00)	700円	200円	500円
土日祝年末年始 上記以外の時間	800円	300円	

※町からの補助金により、時間内・時間外、子どもの人数にかかわらず、1時間500円で利用できます。ひとり親、移住3年以内の方は1時間300円になります。



赤ちゃんが生まれたら



## リユースひろば「おむすび」

**問** かいようファミリー・サポート・センター  
(海部庁舎3階)  
☎ 0884-74-3112

いつでも気軽に利用できる常設のリユースひろばです。「おゆずり」「おあずかり」どちらも随時受け付けています。

チャイルドシートやベビーカーの短期間レンタルもできますので、お問い合わせください。



リユースひろば「おむすび」

## かいようファミリー・サポート・センター「病児・病後児預かり事業」

**問** かいようファミリー・サポート・センター  
(海部庁舎3階)  
☎ 0884-74-3112

病気や病気の回復期にある児童を、保護者が就労等の事情により家庭で保育できない時に、一時的にお預かりします。



### 対象者

1歳～小学6年生までのお子さん

### 会員登録

かいようファミリー・サポート・センターの会員登録及び病児・病後児預かりの利用登録が必要です。(登録料は無料)

### 受付時間

月～金曜日 8:00～17:00  
(祝日・年末年始を除く)

### 利用時間

月～土曜日 7:00～18:00  
(祝日・年末年始を除く)

### サポートルーム

よつばルーム(海部公民館2階)が利用できます。

※定員1名です

### 利用申請

かいようファミリー・サポート・センターへ電話連絡  
※子どもの状態や希望日時により利用の可否を確認します。

※利用には医療機関を受診して「許可書」をもらってください。

### 利用できない場合

- ① 38.5度以上の発熱
- ② 食事や水分が取れない
- ③ 新型コロナ・インフルエンザ、感染性胃腸炎などの強い感染症など



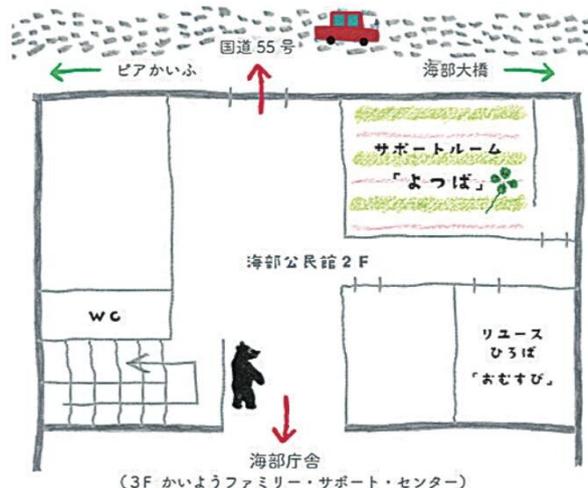
### 利用料金 1時間あたり

	通常 利用料金	補助金*	保護者 負担分
月曜日～金曜日 (7:00～18:00)	800円	300円	500円
土曜日 (7:00～18:00)	900円	400円	

※町からの補助金により、時間内・時間外、子どもの人数にかかわらず、1時間500円で利用できます。ひとり親、移住3年以内の方は1時間300円になります。



サポートルーム「よつば」





### ブックスタート事業

**問** 海南図書館 ☎ 0884-73-3591  
 穴喰図書館 ☎ 0884-76-1030

春と秋の2回、図書館内で0歳児の赤ちゃんと保護者を対象に絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントするブックスタート事業を行っています。



**春** 5月5日「子どもの日」

**秋** 11月3日「文化の日」

### 就学前児童預かり事業

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
 ☎ 0884-73-4313

認定こども園・保育所（園）を卒園した児童を小学校に入学するまでの間、預かり、遊びの場を提供します。

#### 対象児童

認定こども園・保育所（園）を卒園した児童

#### 実施場所

海南こども館

#### 開所日

卒園式の翌日から入学式の前日の平日

#### 開所時間

8:00～18:00

#### 利用料

日額 800 円



### 子育て短期支援事業

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
 ☎ 0884-73-4313

子どもを家庭で養育することが一時的に困難になった時などに、乳児院や児童養護施設などで短期間子どもを預かります。



#### 利用申請

子どもあゆみ保健課へ利用申請書を提出してください。

### ●ショートステイ

#### 実施施設

- ・徳島赤十字乳児院
- ・たちばな学苑
- ・宝田寮
- ・常楽園
- ・ファミリーホーム高橋



#### 利用期間

原則として1回7日以内・年間30日以内

#### 利用料

【2歳未満】1日 2,360 円

【2歳以上】1日 1,840 円

※生活保護世帯は無料。世帯の状況に応じて減免があります。

※利用料は年度により変わることがあります。

### ●トワイライトステイ

#### 実施施設

- ・たちばな学苑
- ・宝田寮
- ・常楽園
- ・ファミリーホーム高橋



#### 利用期間

【平日の夜間】17:00～21:00

【平日の夜間（宿泊）】21:00～8:00

【休日】8:00～18:00

※利用時間はおおむねの時間となります。

#### 利用料

【平日の夜間】1日 750 円

【平日の夜間（宿泊）】1日 750 円

【休日】1日 1,350 円

※生活保護世帯は無料。世帯の状況に応じて減免があります。

※利用料は年度により変わることがあります。



# こどもの発達や障がいへの支援

海陽町では、発達が気になるお子さん一人ひとりに対して、保護者とともにサポートしていく体制をとっています。まずは、相談してください。

## 相談窓口

**問** **こども家庭センター「あすも」**  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

こどもの発達や子育ての悩みに関するいろいろな相談・検診を行っています。



名称	対象者	内容
療育検診	今まで受診していない乳児	ひのみね医療療育センター医師による先天性股関節脱臼の検診
療育相談	希望する保護者 (予約制)	言語聴覚士などの専門職による、ことばの相談や視力・聴力相談
発達相談	希望する幼児とその保護者	臨床心理士や特別支援教育士による発達検査や育児相談
子育て相談	希望する保護者	小児科医による子育てなどに関する個別相談

**問** **教育委員会 教育政策課**  
☎ 0884-73-1246

名称	対象者	内容
就学相談	希望する保護者 (予約制)	スムーズに小学校に入学できるように、特別支援教育士スーパーバイザーによる就学などに関する相談

## のびのび教室

**問** **こども家庭センター「あすも」**  
(海部庁舎子どもあゆみ保健課内)  
☎ 0884-73-4311

特別支援教育士による子どもにあった遊びなどを実施し、その子どもにあった成長を促していきます。

### 対象者

個別の療育支援を希望する幼児とその保護者

### 場所

海部庁舎3階げんきひろば・  
認定こども園・保育所(園)



## 手帳の交付

**問** 長寿福祉人権課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4312

各種支援やサービスを利用するために必要な手帳です。



手帳の種類	内 容
身体障害者手帳	身体に障がいのある方に、申請により手帳を交付します。障がいの程度に応じて1級から6級までの等級があります。 障がいの程度・内容によりいろいろなサービスが受けられます。
療育手帳	知的障がいのある方に、申請により手帳を交付します。手帳の交付には、児童相談所の判定が必要です。障がいの程度によりA1、A2、B1、B2の区分があります。 療育や援助を受けたり、いろいろなサービスが受けられます。
精神障害者保健福祉手帳	精神に障がいがある方に、申請により手帳を交付します。障がいの程度に応じて1級から3級までの等級があります。 障がいの程度によりいろいろなサービスが受けられます。

## 主な支援・助成等

**問** 長寿福祉人権課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4312

お子さんの障がいの状況に応じて、各種制度を利用できます。

種 類	内 容
特別児童扶養手当	身体や精神に障がいのある20歳未満の児童を養育している方に支給されます。
障害児福祉手当	20歳未満の在宅重度障がい児で、日常生活において常時介護を必要とする障がいのある児童に支給。

### 重度心身障害者医療助成制度

重度の身体障がい、知的障がいをお持ちの方に、医療費の一部を助成します。

### 自立支援医療（育成医療）

身体に障がいのある児童（18歳未満）、または放置しておく将来生活に支障をきたすおそれのある疾病にかかっている児童を対象に、手術などにより障がいの治癒軽減を図るために必要な医療を指定医療機関で受ける場合にその治療にかかった医療費の一部を助成します。

### 障害児通所サービス

障がいがある児童に、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを提供します。

### 短期入所（ショートステイ）

介護を行う人の病気、その他の理由により、家庭において介護を受けることが一時的に困難となった場合、施設に短期入所し、食事や入浴、排せつ等の日常生活上の支援を夜間も含め受けることができます。

### 日中一時支援

日中に監護する者がいない場合に施設などで障がいのあるお子さんの活動の場を提供し、見守りや社会に適応するための日常的な訓練などの支援を受けることができます。

### 軽度・中等度難聴児補聴器購入助成

軽度・中等度の聴覚障がいがあり、聴覚障がいによる身体障害者手帳の交付を受けていないお子さんに対し、補聴器の購入費用の一部を助成します。



# ひとり親家庭への支援

## 児童扶養手当

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

父母の離婚などで父または母と生計を同じくしていない児童を監護・養育している方に支給されます。



### 支給期間

児童が18歳に達する日以降の最初の3月31日まで

### 対象児童

- ① 父母が離婚した児童
- ② 父または母が死亡した児童
- ③ 父または母が政令で定める障害のある児童
- ④ 父または母が裁判所からのDV保護命令を受けた児童
- ⑤ 母が婚姻によらないで懐胎した児童 など



### 手当月額

子どもの人数	全部支給のとき	一部支給のとき
第1子	46,690円	46,680円 ～11,010円
第2子以降 加算額	11,030円	11,020円 ～5,520円

※令和7年4月現在の手当月額。

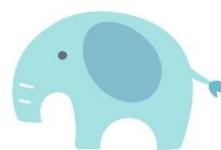
※受給者やその扶養義務者の所得によって、手当月額が変わります。



## ひとり親家庭等医療費助成

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

ひとり親家庭等の方が、安心して医療を受けられるよう、保険医療の自己負担の一部の助成を行います。



### 対象者

- ① 児童を扶養しているひとり親家庭の父母
- ② ひとり親家庭の父母に扶養されている児童
- ③ 父母のない児童 など

### 助成額

	通院	入院
父母	助成なし	無料 ※ただし、食事代等は対象外
児童	1ヶ月1医療機関につき自己負担額1,000円	

※児童は18歳に達する日以降の最初の3月31日までとなります。

※一定以上の所得がある方は対象外となります。

令和7年10月から父母の通院も対象となり、1か月1医療機関につき自己負担額1,000円となります。



## その他のサービス・貸付金等

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

ひとり親家庭の生活の安定と子どもの福祉の向上のために、いろいろなサービスや貸付金等があります。



種類	内容
母子父子寡婦福祉資金貸付金	母子家庭・父子家庭・寡婦の生活の安定と、その子どもの福祉の向上を図るために、各種の貸付があります。 例) 修学資金、就学支度資金、技能習得資金など
家庭生活支援員の派遣	母子家庭の母や父子家庭の父、寡婦の方などが家族の病気や本人の通学・仕事、冠婚葬祭等の理由により、お困りの時、保育や家事などをお手伝いする家庭生活支援員を派遣します。(希望する場合は事前に登録が必要です。)
ひとり親家庭ホームフレンド派遣事業 【連絡先】 088-654-7418 (母子家庭等就業自立支援センター)	ひとり親家庭等の子どもたちの話し相手、相談相手、遊び相手となるホームフレンド（児童訪問援助員）を派遣し、ひとり親家庭の子どもたちが健やかで安定した生活をサポートする事業です。
ひとり親家庭自立支援給付金事業 【連絡先】 088-422-1677 (阿南市福祉事務所)	母子家庭の母や父子家庭の父が、指定された教育訓練講座を受けた場合、その受講料の一部が支給されます。また、指定された資格を取得するため6か月以上養成機関で修業する場合、高等職業訓練促進給付金が支給されます。
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 【連絡先】 088-654-7418 (母子家庭等就業自立支援センター)	ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金を受給しながら資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、修学・就職を容易にするための資金の貸付があります。

ひとり親家庭  
高等学校卒業  
程度認定試験  
合格支援事業  
【連絡先】  
088-422-1677  
(阿南市福祉事務所)

高等学校を卒業していないひとり親家庭の親及び子に対して、高卒認定試験の合格を目指す講座を受講して学び直しを行う場合に、給付金を支給します。  
(受講開始時給付金・受講修了時給付金・合格時給付金)

母子会  
【連絡先】  
088-654-7418  
(母子家庭等就業自立支援センター)

子育てと生活の担い手という二重の役割を母ひとりで担わなければならないという同じ立場の人が集まり、励まし合って親睦と生活の向上をはかるための自主的な組織です。



# ≡ 認定こども園・保育所(園) ≡

## 保育施設

### 認定こども園

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

### ●かいようこども園

**住** 四方原字広谷 18 番地 ☎ 0884-73-1401



開所時間	定員	受入年齢
7:30～18:30	90	3～5歳児

### ●ことばの教室

**問** かいようこども園  
☎ 0884-73-1401

言葉の力を伸ばしたい、発声・発音のための力を伸ばしたい子どもへの支援を行います。全身の筋肉を柔らかげる運動や、口の体操、発音練習などの訓練をうけ、子どもが自信を持って話すことができるような取り組みを行います。



### 認可保育所(園)

**問** 子どもあゆみ保健課(海部庁舎)  
☎ 0884-73-4313

### ●かいよう保育所

**住** 四方原字広谷 18 番地 ☎ 0884-73-0513



開所時間	定員	受入年齢
7:30～18:30	30	10ヶ月～2歳児

### ●二葉保育園

**住** 鞆浦字立岩 50 番地 12 ☎ 0884-73-1530



開所時間	定員	受入年齢
7:30～18:30	40	10ヶ月～5歳児

### ●穴喰保育所

**住** 久保字久保 43 番地 ☎ 0884-76-2123



開所時間	定員	受入年齢
7:00～18:30	40	6ヶ月～5歳児

保護者や家族の方が、仕事や病気のために家庭で保育できない子どもを保護者に代わって認定こども園・保育所(園)で保育します。認定こども園は保護者の就労等に関係なく利用できます。

### 利用申請

毎年11月頃に新年度に入所する児童を募集します。利用申請は、町で受付を行います。(詳しくは広報等でお知らせします。)

### 保育料

市町村民税所得割課税額に基づき決定されます。詳細は担当までお問合せください。

※3～5歳児及び0～2歳児クラスの住民税非課税世帯の児童については、幼児教育・保育の無償化により保育料はかかりません。入所児童がその世帯の第3子以降の場合も、保育料全額を免除します。

令和7年9月から、すべての入所児童の  
保育料を全額免除します



## 給食副食費補助

### 認定こども園

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

### 認可保育所（園）

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

認定こども園・保育所（園）に通う、町内に住所を有する3歳児から5歳児を対象に給食副食費（おかず代）を全額補助します。

### 補助額

月額上限 4,800円

### 申請

認定こども園・保育所を通じて案内します。



## 園児服等購入クーポン券交付事業

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

認定こども園・保育所（園）に初めて入園または転園する児童に園児服・園児帽購入に利用できるクーポン券を交付します。

### 対象者

町内に住所があり初めてこども園・保育所（園）に入園または転園するこども

### クーポンの額

3,000円

※購入代が3,000円未満の場合は購入額となります。



### クーポンの交付方法

入園時に認定こども園・保育所を通じて交付します。途中入所のお子さんには、入園前にご自宅に郵送します。

### 利用方法

各こども園・保育所（園）へ購入代としてクーポン券でお支払いください。



## 一時預かり保育

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

保護者の病気などにより、一時的に家庭での保育が困難になった場合に認定こども園・保育所(園)で預かります。「町内認定こども園・保育所(園)」で実施しています。

※保育所の状況により、受入ができない場合があります。利用を希望されるときは、直接認定こども園・保育所(園)へお問合せください。



## 英語教室

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

幼児期から遊びを通じて、英語に慣れ親しむことを目的として、保育所で定期的に英語教室を行っています。

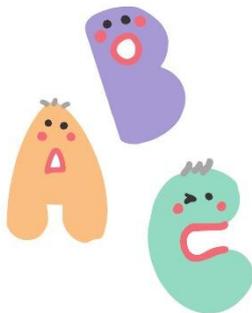
**対象年齢**

4～5歳児

**実施施設**

町内各保育所

※こども園は、園独自のグローバル教育を実施しています。



## 食育活動

**問** 子どもあゆみ保健課（海部庁舎）  
☎ 0884-73-4313

管理栄養士がこども園等に出向いて、園児へ食育のお話をします。また、年に1度は海陽戦隊ゲンキレンジャーの食育啓発劇を開催。子どもにわかりやすい方法で、食事からの健康習慣づくりを目指しています。保護者向けには食育だよりを発行しています。

食事やアレルギー等で気になることは、お気軽に管理栄養士にご相談ください。



食育啓発劇

# 子育て交流の場

## 子育てひろば「おひさま」

**問** 海陽町社会福祉協議会  
(海部庁舎3階)  
☎ 0884-73-1980

海陽町民生児童委員協議会の主任児童委員が中心となって、企画運営している子育てサロンです。お母さんとお子さんにゆったりした時間を過ごしてもらえるように、楽しくおしゃべりしながら、季節の行事を取り入れた簡単な工作やゲームなどを行っています。どうぞお気軽にお越しください♪



### 開催日

毎月第3金曜日 10:00～12:00  
「8月はお休み」(入退室は自由です)

### 開催場所

【偶数月】海南文化村 いきいき館  
【奇数月】穴喰町民センター 2階大会議室

### 対象者

就学前のお子さんと保護者、妊娠中の方

### 参加費

無料



子育てひろば「おひさま」



## 子育てサークル「ひよこクラブ」

「ひよこクラブ」では、保育所等へ入所前の子どもを持つ保護者が、定期的に子どもと一緒に集まって、楽しく遊んだり、育児や生活のことについて情報交換したり、季節の行事、イベントを一緒に楽しんだりしています。

ぜひ、お気軽に遊びに来てください。

### 開催日

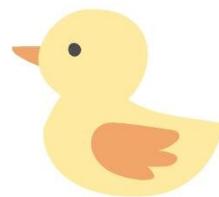
毎週火曜日

### 時間

10:00～12:00

### 開催場所

海南文化村 いきいき館



QRコードからグループラインに登録いただいて、お気軽にお問い合わせください。



子育てサークル「ひよこクラブ」



# 小学校・中学校・高等学校

## 小学校・中学校・高等学校

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

### 小学校

学校名	住所	電話番号
海南小学校	四方原字旭町 50 番地	73-0036
海部小学校	奥浦字堤ノ外 44 番地	73-0201
穴喰小学校	久保字松本 88 番地	76-2009

### 中学校

学校名	住所	電話番号
海陽中学校	大里字松原 34 番地 83	73-0074
穴喰中学校	久保字北田 5 番地	76-2048

### 高等学校

学校名	住所	電話番号
徳島県立海部高等学校	大里字古畑 58 番地 2	73-1371

#### 学 科

普通科・情報ビジネス科・数理科学科



## 放課後子ども教室

**問** 教育委員会 地域つながり課  
☎ 0884-73-3100

放課後に社会教育施設、体育館、校庭等を活用して子どもたちの安全、安心な居場所を提供しています。

### 対象児童

町内各小学校に在籍する児童

### 開所日

月曜日～金曜日  
(祝祭日・長期休みは除く)

### 開所時間

14:30～17:00

### 利用料

年間 800 円 (保険代)

### 放課後子ども教室一覧

名称	実施場所	住所
海南子ども館	海南子ども館	大里字飯持 56 番地1
海部っ子	奥浦老人福祉センター	奥浦字堤ノ外 25 番地1
ドリームスクール鈴が峰	穴喰小学校	久保字松本 88 番地



## 学童保育かいよう

**問** 子どもあゆみ保健課 (海部庁舎)  
☎ 0884-73-4313

春休み・夏休み・冬休みの長期休暇中において、保護者が仕事等で昼間家庭にいない児童に、家庭に代わる生活の場を提供し、遊びや勉学の指導を行います。

### 対象児童

小学校 1 年生～3 年生の児童



### 実施場所

海南こども館

※実施場所は変更になることがあります

### 開所日

- ・夏休みの平日（8/13～8/15は閉所）
- ・冬休みの平日（12/29～1/3は閉所）
- ・春休みの平日

※事業実施者の都合により、休みになる場合があります

### 開所時間

8:00～17:00

### 利用料

日額 800 円

（おやつ代・保険料込み）



## 就学援助制度

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

経済的な理由により学用品費や学校給食費など就学上必要な経費の負担が困難な家庭に対し、その経費の一部を援助します。詳しくは担当までお問合せください。

### 申込方法

支給を受けようとする年度の4月末日までに申請書を提出してください。

（詳しくは広報等でお知らせします）

### 支援費目

- ①学用品費
- ②学校給食費
- ③新入学用品費
- ④修学旅行費
- ⑤校外活動
- ⑥医療費（学校病の治療  
に対して医療券を交付）

※生活保護（教育扶助）を受けている方は、修学旅行費と医療費（学校病）のみの支給となります



## 学校給食費補助

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

小・中学校の児童生徒の給食費の一部を補助します。

### 対象者

町内の小・中学校に在籍する児童生徒

### 助成額

【小学生】月額 900 円

【中学生】月額 1,200 円

※物価高騰分として月額 600 円も補助しています

※3子目以降は給食費の全額を補助

（町内に住所を有する児童生徒のみ）



学校給食

## 学校給食費補助（地産地消食材費）

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

小・中学校で提供される給食の地産地消食材の購入費を助成します。

### 対象者

町内の小・中学校に在籍する児童生徒

### 助成額

月額 200 円

※町内の小中学校に在籍する小学6年生と中学3年生には、月額 200 円の助成額の外に年額 500 円を地産地消特別食材の購入費として上乗せして助成します。



## 体操服購入助成

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

小・中学校の入学時に、学校指定の体操服購入費を助成します。

### 対象者

町内に住所を有する小・中学校に入学する児童生徒

### 助成額

【小学校】 上限 6,000 円

【中学校】 上限 8,000 円



## 第3子以降中学校卒業祝金

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

中学校を卒業する第3子以降の生徒にお祝い金を支給します。

### 対象者

町内に住所を有する第3子以降の生徒の保護者

### 支給額

50,000 円



## 海陽町奨学金貸与制度

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

本町に住所を有する向学心に富む生徒・学生であって、経済的理由により修学が困難な方に対して奨学金を貸与することにより、将来地域の発展に有意な人材の育成を図ることを目的としています。奨学金は無利子で、学校を卒業して3年経過後10年以内に返還することとなります。募集は2月上旬より行います。(詳しくは広報等でお知らせします)

### 賞与金額

【高等学校等】 月額 15,000 円

【大学等】 月額 50,000 円



## おかえReターン海陽・奨学金支援事業

**問** 教育委員会 教育政策課  
☎ 0884-73-1246

町へのUターン及び定住、地元就職の促進を図るため、町内に居住、就業する方(している方)を対象に奨学金の返還を支援します。(詳しくは広報等でお知らせします)

### 助成額

年間最大 24 万円 (4 年制大学等の場合)

### 助成期間

最長 10 年間

### 対象奨学金

- ①海陽町奨学金
- ②独立行政法人日本学生支援機構奨学金(第1種、第2種奨学金)
- ③社会福祉法人徳島県社会福祉協議会生活福祉資金貸付制度(教育支援金)



# ☺ 相談窓口一覧 ☺

内 容	連 絡 先	備 考
休日夜間の 小児救急医療機関	徳島赤十字病院 ☎ 0885-32-2555 県立中央病院 ☎ 088-631-7151	事前に電話で確認し保険証、医療費 助成受給者証をお持ちのうえ、ご利用 ください。
徳島こども医療電話相談	#8000 または ☎ 088-621-2365	【日・祝・年末年始】24時間対応 【月～土】午後6時～翌朝8時
助産師による産前・産後相談	一般社団法人徳島県助産師会 ☎ 090-3186-8358	【相談時間】月～金 (祝・年末年始・奇数月の第3金曜日を除く) (午後1時～午後4時)
お子さんと家庭の電話相談	南部こども女性相談センター ☎ 0884-22-7130	
お子さんの発達に関する相談 ※自閉症、アスペルガー症候群、 学習障害(LD)、注意欠陥・多 動性障害(ADHD)などの、 発達障がいに関する事など	徳島県発達障がい者総合支援センター ハナミズキ ☎ 0885-34-9001	【相談時間】 月～金(祝・年末年始を除く) (午前8時30分～午後5時15分) ※相談については予約制
児童虐待に関する相談	児童相談所全国共通ダイヤル ☎ 189 南部こども女性相談センター ☎ 0884-22-7130 かいようこども家庭センター ☎ 0884-73-4311	
いじめに関する相談	24時間子どもSOSダイヤル ☎ 0120-07-8310	
妊娠・出産・育児の相談	かいようこども家庭センター ☎ 0884-73-4311	【相談時間】 月～金(閉庁日を除く) (午前8時30分～午後5時15分)
子育て支援に関する相談 ※児童手当、医療費、保育所、 子育て支援に関する事など	子どもあゆみ保健課 ☎ 0884-73-4313	【相談時間】 月～金(閉庁日を除く) (午前8時30分～午後5時15分)
障がいサービスに 関すること	長寿福祉人権課 ☎ 0884-73-4312	【相談時間】 月～金(閉庁日を除く) (午前8時30分～午後5時15分)
こども園・小中学校に 関する相談	教育委員会教育政策課 ☎ 0884-73-1246	【相談時間】 月～金(閉庁日を除く) (午前8時30分～午後5時15分)



# すくすく海陽っ子応援BOOK

【発行】海陽町 子どもあゆみ保健課  
〒775-0395 徳島県海部郡海陽町奥浦字新町 44 番地  
TEL：0884-73-4313  
発行日：令和7年4月